

研究会レポート

防災研究会（北海道技術士センター）

「防災研究セミナー」開催

■はじめに

平成 15 年 8 月 26 日 北海道技術士センター 防災研究会（会長 高宮則夫・副会長 松井義孝）では、平成 15 年度 第 1 回「防災研究セミナー」を KKR 札幌において開催致しました。本セミナーは、建設コンサルタンツ協会北海道支部・札幌市設計同友会・北海道土木技術会土質基礎研究委員会の共催でもあります。今回の防災研究セミナーでは、現役自衛官を初めて講師に招いたこともあって、防災研究会会員を含めて 100 名を超す多くの方々に参加していただきました。

冒頭、高宮防災研究会会長より、防災研究セミナーの主旨説明の開会挨拶があり、引き続き、研究会報告ならびに基調講演に入りました。（表-1 演題・講師）なお、本セミナーは継続教育 CPD 対応の一環でもあります。

表-1 防災研究セミナー 演題・講師

— 研究会報告 — 「日本技術士会第 31 回全国大会（札幌）に向けて」 防災研究会 副会長 松井義孝氏
— 基調講演 — 「社会貢献する陸上自衛隊」 1. 陸上自衛隊北部方面隊の概要 2. 有珠山噴火災害派遣の概要 陸上自衛隊北部方面総監部防衛部防衛課 田口孝二氏・後藤賢昭氏

■日本技術士会第 31 回全国大会（札幌）に向けて

次年度、平成 16 年 8 月 北海道で開催予定の日本技術士会全国大会（札幌）への防災研究会の取り組みについて、当研究会松井副会長から報告がありました。北海道大会の基本テーマは、「社会貢献」と既に決定しており、各研究会を中心に以下の 5 分科会が設置されます。

- ・第 1 分科会—RS 研究会
- ・第 2 分科会—地域産業研究会
- ・第 3 分科会—北方海域技術研究会
- ・第 4 分科会—防災研究会
- ・第 5 分科会—青年技術士協議会

このうち防災研究会が担当する第 4 分科会のタイトル・サブタイトルテーマは、現在取り組んでいる研究テーマから以下としています。

「都市防災」 ～市民への提言～

防災研究会では、本大会で開催を予定している講演会とパネルディスカッションに向けて、現在鋭意準備を進めているところです。

■基調講演

防災研究会からの報告に引き続き基調講演に入りました。基調講演は、「社会貢献する陸上自衛隊」陸上自衛隊北部方面隊の概要および有珠山噴火災害派遣の概要 と題して、陸上自衛隊北部方面総監部防衛部防衛課田口孝二等陸佐、後藤賢昭三等陸佐のお二人に講演をして頂きました。忙しい勤務中の時間内の講演を引き受けていただいたお二人には深く感謝申し上げます。



写真-1 基調講演「社会貢献する陸上自衛隊」



写真-2 情報交換会の様子

講演時間は、約1時間で途中にビデオ放映も入れていただき非常にわかりやすい内容でした。今回の講演では、陸上自衛隊の管理システムの詳細や記憶に新しい有珠山噴火の災害活動など、普段我々が知ることのできない貴重な話を聞くことができました。また、最近のPKO問題など国際社会貢献に関する話題もあり非常に有用な内容でもありました。

その中で、一つ興味深かったのは、現在自衛隊には有事マニュアルはあっても、災害対策に対する確立されたマニュアルの詳細がないというものでした。つまり、臨機にいかに関地条件に合わせた災害対応をおこなうかが重要となるかと思ひます。この際、キーワードになるのはやはり「市民」への対応と理解ということであって、現在の防災研究会の取り組みと通ずるものがあると考えました。

基調講演の後に、講演者の御配慮により、質疑の時間を設けていただきました。国土防災や国際貢献

に関する多少手厳しい三件の質疑・意見が会場からありました。それに対しても講演者からは熱心で的確な回答がなされ、かつてない非常に有意義なセミナーとなったと考えています。

■情報交換会

防災研究セミナー終了後に、会場をかえて非常に多くの約60名の出席者による情報交換会が催されました。

北海道技術士センター 高橋顧問の開会乾杯で始まり、途中に能登センター副会長を初め多くの人たちにも近況報告をしていただきました。最後まで和やかでかつ有意義な交流会でありました。

■おわりに

防災研究会では、技術者のCPD対応として今回のセミナーを皮切りに今年度3回の「防災研究セミナー」の開催を予定しております。ご案内の際は是非御参加していただければと考えます。

今後も防災研究会では、研究成果の社会への有用な提言を目標に、防災に関する認識向上の視点から幅広く研究活動を進めていきたいと考えております。

最後に、自分の専門を生かすべく意欲のある方々を対象に、防災研究会会員を広く公募しておりますので、宜しくお願い致します。

(文責：防災研究会幹事 富澤 幸一)